

2011/10/5

エステティックプロフェッショナル協会 理事とスタッフが埼玉県双葉町へ「ケアエイド」のボランティアに行っていました。

福島県の被災者の方々が非難されている埼玉県騎西市騎西高校にてプチエイドを施させて頂きました。この騎西高校には1000人以上の方が避難され、老若男女関係なく皆さん教室で生活を共にされていたそ



うですが、私たちが伺ったときには700名以上の方が避難所を離れ、仮設住宅に移られたそうです。今回は短時間の訪問でしたので多くの被災者の方へはプチエイドを施すことができませんでしたが、皆さんと

双葉町の町長様より
ありがたいお礼
状を頂きました。

お話をさせて頂き、触れ合っている中で、原発事故での多くの犠牲についてあらためて、私たち日本人が考えていかなければならない大きな課題の一つであると感じました。



拝啓 このたびは双葉町民に対しまして、御厚情あふれる御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、3月11日の東日本大地震により、双葉町においても尊い命と財産を失い、さらに原子力発電所の事故により町民全員が避難生活を送ることを余儀なくされています。

失意の中であって、全国の皆さまから励ましのお言葉や心温まるご支援、沢山の物資などを賜り、感激の極みであります。今回の活動のご支援、本当にありがとうございました。

皆様のお気持ちが町民全員の力強いエールとなり、温かい励ましとなっております。復興はまだまだ先行が見えませんが、町民一同、一日も早く双葉町へ帰ることを心の支えとしながら、頑張っております。

どうぞ今後とも、ご支援や励ましのお言葉を賜れば幸いと存じます。

この度のご厚情に対し、参上して御礼を申し上げるべきところ、誠に恐縮ですが、取り急ぎ書面を持ちまして御礼に代えさせていただきます。

誠にありがとうございました。

敬具

平成23年10月吉日

各 位

双葉町長 井戸川 克 隆